



防災基礎知識④ ー火災への備えー

■問合せ…市民安全課 (☎025-520-5660)

冬は空気が乾燥し、火災が多くなる傾向があります。火災の被害を防ぐため、日頃から防災対策をしましょう。

火災の発生を防ぐために

- ・料理で火を使うときは、その場を離れない。
- ・家の周りに燃えやすいものを置かない。
- ・子どもにマッチやライターで遊ばせない。
- ・不具合のある電化製品は使用しない。
- ・こまめにコンセントプラグのほこりを清掃する。
- ・ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ・寝る前に火の元を点検する。
- ・消火器を備える。
- ・住宅用火災警報器を適切に設置する。

(複数箇所に設置が必要な家庭は、火災を感知した警報器だけでなく全ての警報器で火災を知らせる「連動型」の設置をお勧めします。)



住宅用火災警報器
(上越地域
消防事務組合)



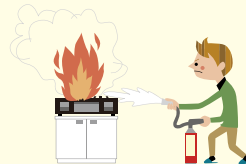
住宅用火災警報器は10年経ったら交換しましょう

- ・住宅用火災警報器の電池寿命は、各メーカーともおおむね10年とされています。また、検知部などの精密部品も劣化するため、10年を目安に本体を交換することをお勧めします。



もし火災がおきたら

- 1 「火事だ」と大声を出して隣近所に助けを求める。
- 2 119番に通報する。(固定電話、携帯電話ともに局番なしで「119」です。)
- 3 消火器やバケツの水などで初期消火を行う。
- 4 天井に火が燃え移ったときは、消火をあきらめ、すぐに避難する。



市政トピックス

新年祝賀会 1/6

新春をこたほぎ、上越市のさらなる発展を祈る「上越市合併20周年記念 令和7年上越市新年祝賀会」をリージョンプラザ上越で開催し、約2,000人が参加しました。中川市長は、「人口減少や少子高齢化が急速に進む中、自然災害の激甚化・頻発化、物価高騰などが生活に影響を及ぼしている。市民の皆さんの安心安全な暮らしを守ることを第一に、「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向けて力を尽くす」と述べました。



「スキーの日」レルヒ少佐顕彰会 1/12

明治44年(1911)年1月12日、当時のオーストリア・ハンガリー帝国の軍人・レルヒ少佐によって日本で初めて本格的なスキー指導が行われたことを記念して制定された「スキーの日」に合わせて、イベントが開催され、約80人が参加しました。レルヒ少佐が伝えた「一本杖スキー術」の披露や献花などが行われ、レルヒ少佐の功績を後世へと受け継いでいく機会となりました。

